

日時：平成29年度6月23日（金）14：30～16：00

<会議室にて>

①校長挨拶

- ・気兼ねなくご意見をいただき、本校が目指す学校像の具現化のため、教職員の活動や新しい取り組みに繋げていきたい。

②委員紹介（敬称略、順不同）

比嘉 悟、坂上 尚大、小島 久美子、中山 孝一、大久保 宏俊、川畑 利子

③委員長指名

委員の互選より、比嘉 悟氏を委員長に指名。

④比嘉 悟氏より挨拶

- ・新たな校長の考えと、これまで築いてきた基盤を合わせて、生徒の成長を重視した議論を進めていきたい。

⑤事務局紹介（敬称略、順不同）

橋本 敏和・近西 弘行・星野 恵美・安田 覚・鮎川 哲也・松田 義之・北岸 伸浩
田中 千絵・西野 洋次・黒川 哲男・多賀 絢香・奥田 訓之・野間 健二・中山 輝彦
高木 優美・三川 功耀・田畑 貴史・坂下 奈緒・上田 正登

⑥本校の概要についての報告

ア 教務関係（松田 義之）

- ・生徒が落ち着いてきたため、直近2年は進級率90%前半を維持している。
- ・基本を重視した教育を行っており、1、2年生では芸術以外の選択科目はない。
- ・1年生「数学Ⅰ」と「英語表現基礎」では、習熟度別による小人数授業を展開している。
- ・2年生「社会と情報」、3年生「表計算演習」は、チームティーチングを取り入れている。

イ 進路関係（代読：近西 弘行）

- ・進学か就職かを事前に調査し、生徒それぞれの希望に沿って指導している。
- ・進路部の教員は、進学や就職先の指定校推薦の新規開拓を行っている。
- ・4月から、3年生に対して就職の模擬面接を実施している。

ウ 生徒指導関係（代読：橋本 敏和）

- ・担任を除く教員を対象に曜日当番を組み、早朝の登校指導を行っている。また、生徒指導部長の

北岸と管理職の教員で、下校時の指導も行っている。最近、近隣住民の方々からお褒めの言葉をいただいた。これらの指導を通して、遅刻者を減らしたい。

エ 保健関係（代読：橋本 敏和）

- ・「生徒が安全・安心な学校生活が送れるようにする」という目標を達成するために、食堂での飲食物の販売から発生する校内ゴミの清掃など様々な美化活動を促している。
- ・アレルギーを持つ生徒のために、教員向けエキペン研修を実施している。

オ 図書自治会関係（代読：橋本 敏和）

- ・先日の体育祭では、生徒がクラス別で赤、青、黄色の団に所属し、応援パフォーマンスに取り組むなど、生き生きとしている様子だった。
- ・今年度の文化祭は、開催場所を体育館だけでなく、中庭まで拡大する予定である。

カ 教育相談関係（代読：橋本 敏和）

- ・「ケース会議」を開き、支援を要する生徒の情報を共有して、教育・指導方針を決める。
- ・「教育相談ミニ研修」を年に数回実施して、支援について学び、全教員の認識を統一することを目指している。

キ 学校の状況等（安田 覚）

- ・以下の広報活動を行っている。
「イズトリだより」を周辺中学校へ3年のクラス数+1の枚数を送付。
8月、中学生を本校に招いてオープンスクールを実施。

*以上ア～キの報告は、担当教員が授業・行事等で不在の場合、教頭・首席等で対応した。

⑦学校経営計画の説明と協議

ア【校長より報告】

○平成28年度についての報告

- ・4月に本校へ赴任して約2週間後に経営計画を提出する必要があったため、前校長が作成した経営計画を参考にして作成した。
- ・常に生徒を中心に置いた学校経営を行う。

○平成29年度についての報告

- 1 地域やグローバルな世界を『たくましく生き抜く力』の基となる「豊かな人間性」の涵養
- 2 地域やグローバルな世界を『たくましく生き抜く力』の基となる「確かな学力」の定着
- 3 将来の生き方をデザインし、自ら学び続けることができる生徒の育成
- 4 自ら学び続ける教師集団の確立

5 「国益」「公益」を担い社会で活躍できる人材育成

6 グローバル社会を逞しく生き抜く力

7 確かな学力【教学相長】の信念

8 豊かな人間性【MIND】の涵養

* 1～4は「平成29年度 学校経営計画及び学校評価（案）」、5～8は「大阪府立泉鳥取高等学校 学校経営ビジョン 資料 2」に沿って具体的に説明した。

イ【協議委員よりの質疑及び意見】

協 遅刻者が多いですね。

A 電車の本数が少ないことが、ひとつの原因かと思います。佐野工科高等学校は、遅刻者が例年500名ほどおり、3回連続遅刻すると、ひとりで教室の掃除をさせるそうです。

協 学校経営計画の中期的目標のひとつとして、豊かな人間性の涵養を設定されておりますが、中学校卒業までに育ててほしい人間性がありますか。

A 「大人を信頼する心」「素直さ」

協 生徒の特徴であり、強みは前向きであること。English Café など新たな取り組みで、その良さを更に伸ばしてほしい。

協 良い学校は良い教員にあり、という考えを持っています。教員は、何年ほどで転勤するのでしょうか。

A 約5年で転勤する方が多いと思います。教員の平均年齢は37.8歳です。現在の課題は、他教科や他分掌との連携が密ではないことです。

協 毎年、実習で生徒の受け入れをしています。ひとりでも多くの生徒が、生き生きと学校生活を過ごして欲しい。

協 遅刻を許してはいけない。私自身、家庭で厳しく指導しています。無遅刻の習慣は、社会人になっても生きる。家庭での教育は重要です。

協 アルバイトをしているため部活動の部員が集まらない、という状況があると思いますが、アルバイトについてどうお考えですか。

A 生徒の家庭環境や世帯所得が関係しているので、一概に「アルバイト禁止」とは言えない。部活動とアルバイトを両立している生徒はいる。

協 アルバイトの経験と関連付けて、将来設計の指導をされていますか。

A 具体的にはないが、その経験が、頭髮など身だしなみを整えることに生かされていればと考える。

*協：協議委員の方々からのご意見及びご質問 A：本校の回答

ウ【会長によるまとめ】

- ・確かな学力、豊かな人間性を築いて、グローバル社会を逞しく生き抜く力をつける。その方法として、English Café、阪南市特産品の綿の振興、遅刻防止活動、朝の小テストなどを実施する。
- ・教学相長の信念をもとに、生徒と教員が一体となってより良い学校作りに取り組むことを期待する。

⑧次回日程の確認及び校長挨拶